

## 1 富山県の動き

### (1) 概況

本県経済をみると、個人消費は、緩やかに持ち直しつつある。住宅建設は、おおむね横ばいとなっている。設備投資は、持ち直しつつある。公共投資は、おおむね横ばいとなっている。生産は、持ち直している。雇用情勢は、緩やかな改善の動きが続いている。企業倒産の件数は、一桁台となっている。消費者物価は、おおむね横ばいとなっている。以上のように最近の本県の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、緩やかに持ち直しつつある。

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策などを背景に、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

県としては、引き続き、社会資本整備の推進、金融対策などの中小企業支援、産業振興と一体となった雇用創造、人手不足の分野における雇成型訓練等を内容とする経済・雇用対策に取り組むとともに、医薬・バイオなどの健康関連産業、環境・エネルギー関連産業、先端ものづくり産業の育成に向けたチャレンジに取り組むこととしている。

主な指標	指数等	前月（期）比	前年同月比
鉱工業生産指数（7月）	97.6	▲3.5%	10.0%
鉱工業在庫指数（7月）	102.2	0.2%	▲8.4%
大型小売店販売額（7月速報）	107億84百万円	（全店ベース）	2.7%
新設住宅着工戸数（7月）	708戸	42.7%	65.4%
消費者物価指数（8月・富山市）	100.0	0.4%	▲0.5%
有効求人倍率（7月・季節調整値）	1.48倍	0.07 <sup>ポ</sup> イント	0.27 <sup>ポ</sup> イント

※鉱工業生産指数・在庫指数は、平成27年＝100

※消費者物価指数は、令和3年7月分発表時より令和3年基準に改定

※有効求人倍率は、令和2年12月以前の数値を新季節指数により改定

### (2) 個人消費

個人消費は、緩やかに持ち直しつつある。大型小売店（百貨店・スーパー等）販売額をみると、6月は104億66百万円の後、7月の速報値107億84百万円は前月比3.0%増（前年同月比2.7%増、既存店は前年同月比0.6%減）となった。また、耐久消費財の販売動向を乗用車（軽を含む。）の新車新規登録台数でみると、7月は3,152台で前年同月比4.5%減の後、8月は2,592台で同3.7%減となった。

### (3) 住宅建設

住宅建設は、おおむね横ばいとなっている。新設住宅着工戸数をみると、6月は総戸数496戸（前年同月比8.3%増）の後、7月は総戸数708戸（同65.4%増）で、内訳をみると、持家は343戸（同28.5%増）、貸家は308戸（同148.4%増）、分譲住宅は39戸（同5.4%増）などとなっている。

#### (4) 設備投資

設備投資は、持ち直しつつある。日本銀行金沢支店「北陸3県企業短期経済観測調査」（令和3年6月調査）により、2021年度設備投資計画をみると、富山県は、全産業で前年度比19.0%増となった（ソフトウェア投資額を除く）。内訳は、製造業で前年度比38.3%増、非製造業で前年度比2.4%増となった。

#### (5) 公共投資

公共投資は、おおむね横ばいとなっている。公共工事前払金保証事業統計（北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱調べ）で公共工事請負金額をみると、6月は117億54百万円の後、7月は151億19百万円で前年同月比14.4%減となった。また、令和3年5月－令和3年7月期の平均額は、161億22百万円で前年同期比12.3%増となった。

#### (6) 生産

鉱工業生産の動きをみると、持ち直している。鉱工業生産指数（平成27年＝100、季節調整済）は、6月に101.1となった後、7月は前月比3.5%低下の97.6（前年同月比10.0%上昇）となった。業種別に動き（前月比）をみると、13業種中、電気機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業など5業種が上昇し、パルプ・紙・紙加工品工業、化学工業、プラスチック製品工業など8業種が低下となった。鉱工業生産者製品在庫指数は、6月に102.0となった後、7月は前月比0.2%上昇の102.2（前年同月比8.4%低下）となった。業種別に動きをみると、13業種中、非鉄金属工業、電気機械工業、食料品工業など6業種が上昇し、化学工業、鉄鋼業など7業種が低下となった。

#### (7) 雇用情勢

雇用情勢は、緩やかな改善の動きが続いている。月間有効求人数（パート含む。）は7月に20,843人（前年同月比14.0%増）、月間有効求職者数（パート含む。）は7月に14,951人（同5.1%減）となった。有効求人倍率（季節調整済）は、6月に1.41倍の後、7月は1.48倍となった。

#### (8) 企業倒産

企業倒産件数は、一桁台となっている。企業倒産（負債額1,000万円以上、東京商工リサーチ富山支店調）の状況をみると、7月に3件、負債総額2億99百万円（前年同月：5件減、7億38百万円減）の後、8月の件数は5件で、負債総額5億84百万円（前年同月：2件減、72百万円増）となった。産業別では、農・林・漁・鉱業が2件、卸売業、不動産業、運輸業が各1件だった。破綻原因は、販売不振が3件、他社倒産の余波が2件だった。

#### (9) 物価

消費者物価は、おおむね横ばいとなっている。富山市の消費者物価指数（令和2年＝100）をみると、総合指数は、7月は99.6で前月比0.2%上昇（前年同月比0.5%下落）となった後、8月は100.0で前月比0.4%上昇（前年同月比0.5%下落）となった。前月比で「交通・通信」などが下落したものの、「食料」などが上昇したため、総合指数の前月比は上昇。また、生鮮食品を除く総合指数は99.9で、前月比は0.2%上昇（前年同月比0.2%下落）、生鮮食品の指数は101.1で、前月比5.4%上昇（同7.4%下落）となっている。

## (10) その他の動き

### ① 工業の動き（7月～8月）

業種別	企業ヒアリングの特徴点
一般機械	<p>自動車産業、航空機産業向けの軸受については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>ロボット関連については、生産は横ばい、出荷は増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
電子電気機械	<p>電子機器等については、生産は増加、出荷は減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p> <p>半導体については、生産は減少、出荷は増加となっている。現状、見通しともに好調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>変圧器、配電盤については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
輸送機械	<p>現状、見通しともに停滞となっている。雇用状況については、足りている。</p>
金属製品	<p>アルミニウム建材製品、住宅規格商品については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>民生用包装容器については、生産は横ばい、出荷は増加となっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
非鉄金属	<p>生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
鉄鋼	<p>生産、出荷ともに減少となっている。現状は好調、見通しは堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>

業種別	企業ヒアリングの特徴点
化学	<p>基礎化学品、機能化学品、農業化学品については、生産は増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>医薬品については、生産は横ばい、出荷は増加となっている。現状、見通しともに停滞となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
紙・パルプ 印刷紙器	<p>生産は横ばい、出荷は減少となっている。現状は低調、見通しは停滞となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
木材・木製品	<p>需要については、国産材は強含み、北洋材は保合となっている。供給については、国産材は弱含み、北洋材は低迷している。価格については、国産材は強含み、北洋材は強保合となっている。見通しは、国産材、北洋材ともに強保合となっている。</p>
プラスチック	<p>車両関連については、生産は減少、出荷は増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p> <p>家庭用品、園芸用品、工業製品については、生産は減少、出荷は増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
情報サービス	<p>受注は増加となっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
繊維	<p>生産、出荷ともに横ばいとなっている。現状、見通しともに低調となっている。</p>

## ② 労働市場（富山労働局職業安定課調）

7月の富山県の雇用情勢をみると、新規求人数（パート含む。）は7,835人で、前年同月比18.1%増となった。主要産業別では、建設業（9.1%）、製造業（56.9%）、運輸業、郵便業（18.9%）、卸売業、小売業（10.3%）、宿泊業、飲食サービス業（19.3%）、生活関連サービス業、娯楽業（24.1%）、医療、福祉（10.4%）、サービス業（26.2%）等で増加し、不動産業、物品賃貸業（▲24.2%）、教育、学習支援業（▲16.8%）等で減少した。

労働力需給の趨勢を有効求人倍率（季節調整値）でみると、7月は1.48倍となり、前月比で0.07ポイント上昇となり、前年同月比で0.27ポイント上昇となった。

### ③ 近年の企業立地動向

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度	2 年度
雇用創出数	556人	571人	517人	424人	321人
企業立地件数	57件	58件	70件	72件	60件

※県独自集計

#### ・主要企業用地の分譲状況

富山新港臨海工業用地 426.8ha（うち分譲済 413.4ha、分譲率 97%）

#### ・最近の主な立地企業（平成31年2月以降、増設を含む）

企 業 名		業 種	竣 工 操業開始 年 月
株スギノマシン（新工場・微粒テストセンター）	滑川市	産業機械製造	3年5月
株シルバートレーディング（新工場）	富山市	印刷業	3年4月
前田薬品工業株（立山工場）	立山町	医薬品製造	3年3月
日本通運株（富山医薬品センター）	富山市	運送業	3年1月
昭北ラミネート工業株（第3工場）	富山市	印刷関連業	2年10月
東亜合成株（高岡創造ラボ）	高岡市	接着剤製造	2年10月
株北越（入善工場）	入善町	板金製造加工	2年10月
戸出化成株	高岡市	プラスチック部品製造	2年9月
株D-Factory	朝日町	省力化機械製造	2年9月
NSK富山株（高岡工場）	高岡市	産業機械用軸受製造	2年7月
アクティブファーマ株（研究・品質管理棟等）	富山市	医薬品製造	2年5月
東亜薬品株（試験管理棟）	富山市	医薬品製造	2年5月
株大江鉄工	射水市	鉄鋼製品製造	2年5月
サンエツ金属株	高岡市	黄銅線製造	2年4月
株高岡製作所（第2工場）	高岡市	鋳鉄鋳物製造	2年3月
株ロキテクノ（北陸事業所）	滑川市	産業用フィルター製造	2年1月
アステラスファーマテック株（バイオ原薬棟）	富山市	医薬品製造	元年12月
富士フィルム富山化学株（701工場）	富山市	医薬品製造	元年12月
協和マシン株（テクニカルセンター）	高岡市	生産用機械器具製造	元年12月
立山化成株（研究所）	射水市	医薬品製造	元年12月
株森田製作所	富山市	精密板金加工	元年11月
アクテック株	富山市	産業機械製造	元年10月
株中村機械	射水市	機械装置製造	元年10月
株ヒラ・テック	富山市	板金製缶加工	元年7月
株富山村田製作所（技能習得施設）	高岡市	電子部品製造	31年4月
株ウーケ	入善町	食料品製造	31年4月
アルビス株（プロセスセンター）	射水市	惣菜・精肉加工	31年3月
株ウッディパーツ（第3工場）	高岡市	木材加工	31年3月
東亜薬品株（第4製剤棟）	富山市	医薬品製造	31年2月

## 2 全国の動き

内閣府の月例経済報告をご参照ください。

内閣府ホームページ：<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>